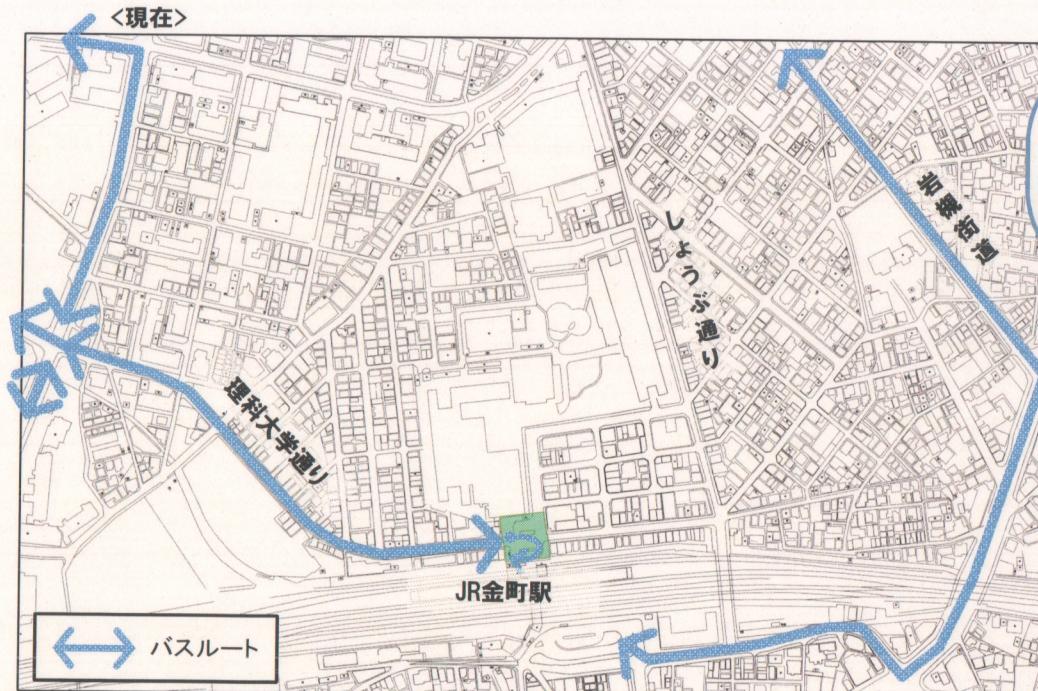


■金町駅北口周辺地区の交通基盤などの整備の考え方（案）

【別添資料】



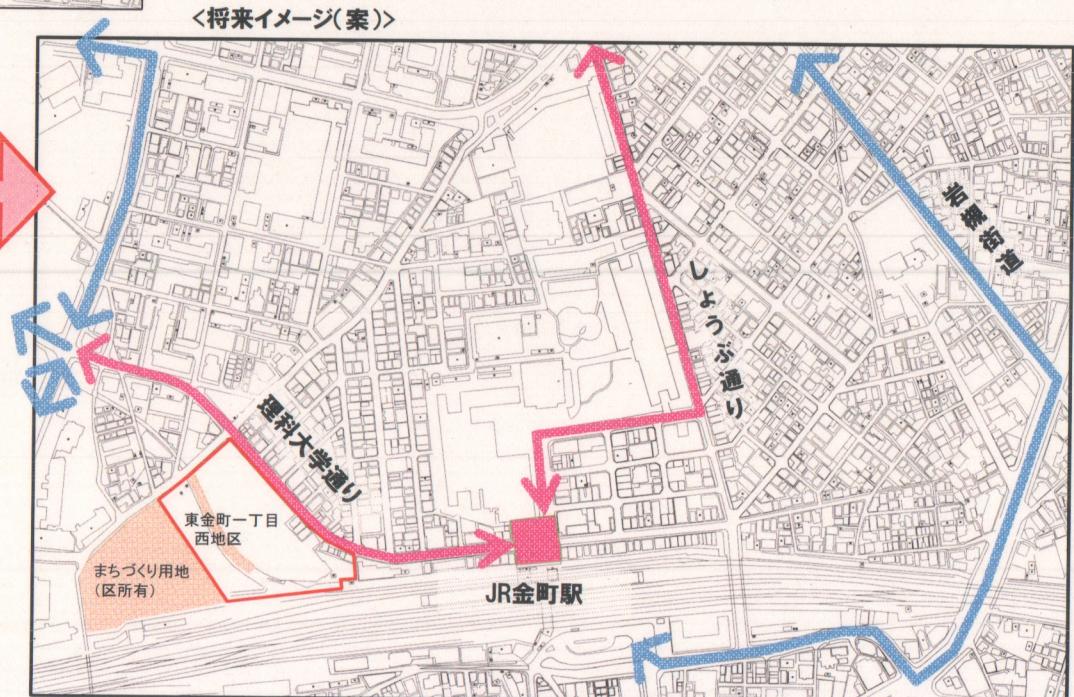
◆現在の交通基盤の現状・課題など

- ① 理科大学通りなどの歩道が狭く、歩きにくい。
- ② バスが駅前広場で折り返し、理科大学通りを往復している。
- ③ 北口の駅前広場が手狭なことから、東水元方面のバスが、南口の駅前広場からの発着となっている。



理科大学通りなどの交通基盤の整備や
沿道のまちづくりを進めることで...

- ① 理科大学通りなどの道路を拡幅し、歩行者の安全性を確保したい。
- ② ショウブ通りなどのバス通行を可能にすることで、新しいバス路線の開設につなげたい。
- ③ 併せて、手狭な北口駅前広場を拡幅することで、バスの増便を目指し、利用者にとって便利でわかりやすい駅前広場としたい。
- ④ バスの利便性を高め、水元地域などのバスによる金町駅利用者の増加を目指し、地域を活性化したい。



※現時点での区として考える案であり、決定したものではありません。

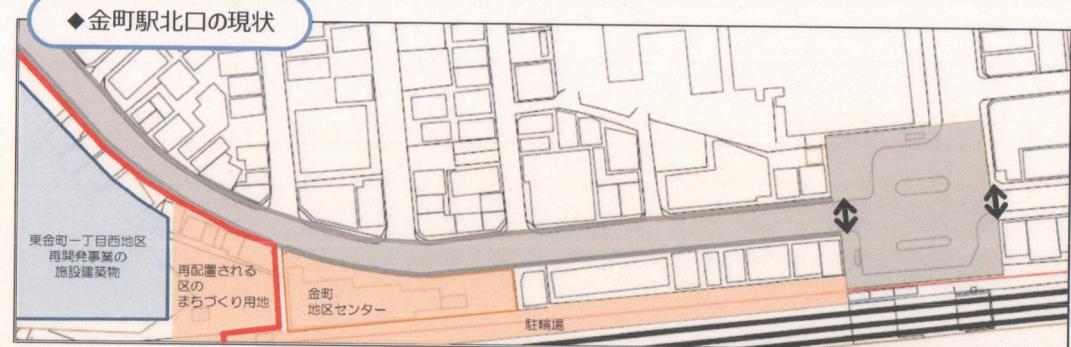
■「地区センターから金町駅まで」の交通基盤の整備と沿道まちづくりの考え方（案）

- ◆地区センターから金町駅までの間において、
- ◆駅北口の安全性・利便性向上のための交通基盤の整備と沿道まちづくりについて、
- ◆関係する地権者の方々と意見交換を行っているところ。

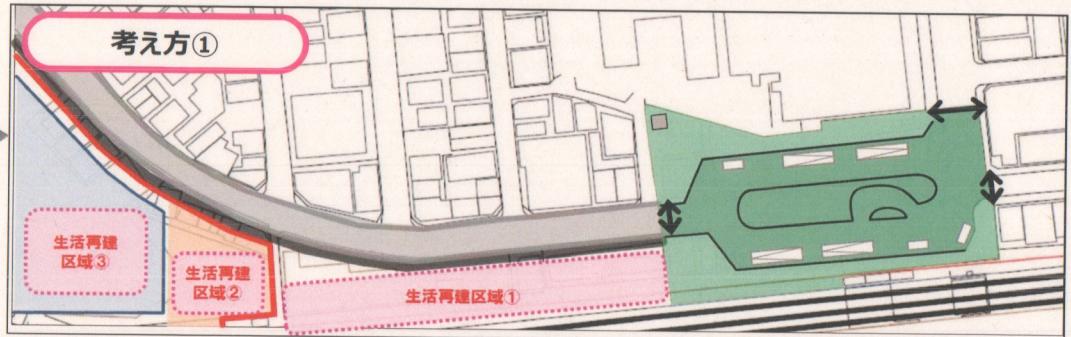
交通基盤の整備と沿道まちづくりの考え方(案)

考え方①

- ・関係する全ての地権者の同意が得られた場合に、
- ・地権者の生活再建建物を整備し、
- ・理科大学通りを南側に、駅前広場を西側に拡幅整備。



考え方①



考え方②

- ・同意が得られる地権者の生活再建建物を整備し、
- ・新たなバスの発着場などを整備するとともに、
- ・現在の駐輪場部分に、駅から西側への歩行者空間を整備。



考え方③

- ・地権者の同意が得られない場合に、
- ・区有地のみでのまちづくりを検討するとともに、
- ・現在の駐輪場部分に、駅から西側への歩行者空間を整備。

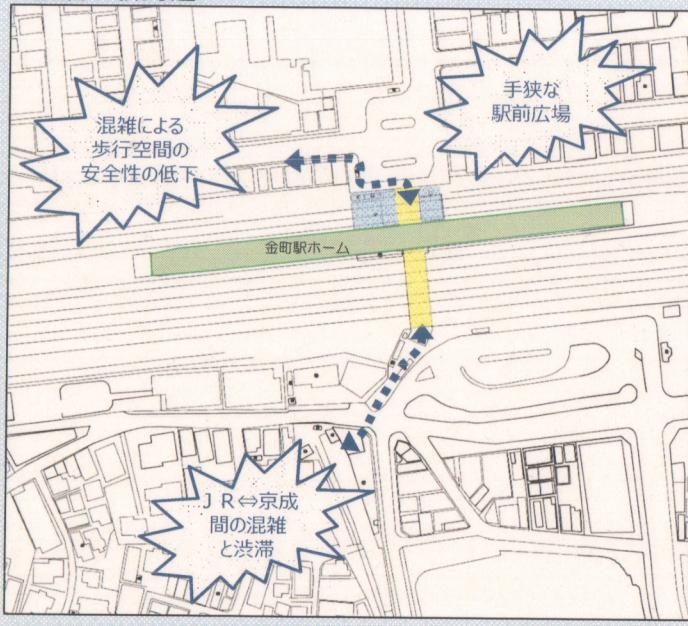


※現時点では区として考える案であり、決定したものではありません。

■まちづくりにあわせたJR金町駅の考え方（案）（1／2）

<現状と課題>

<駅及び駅周辺>



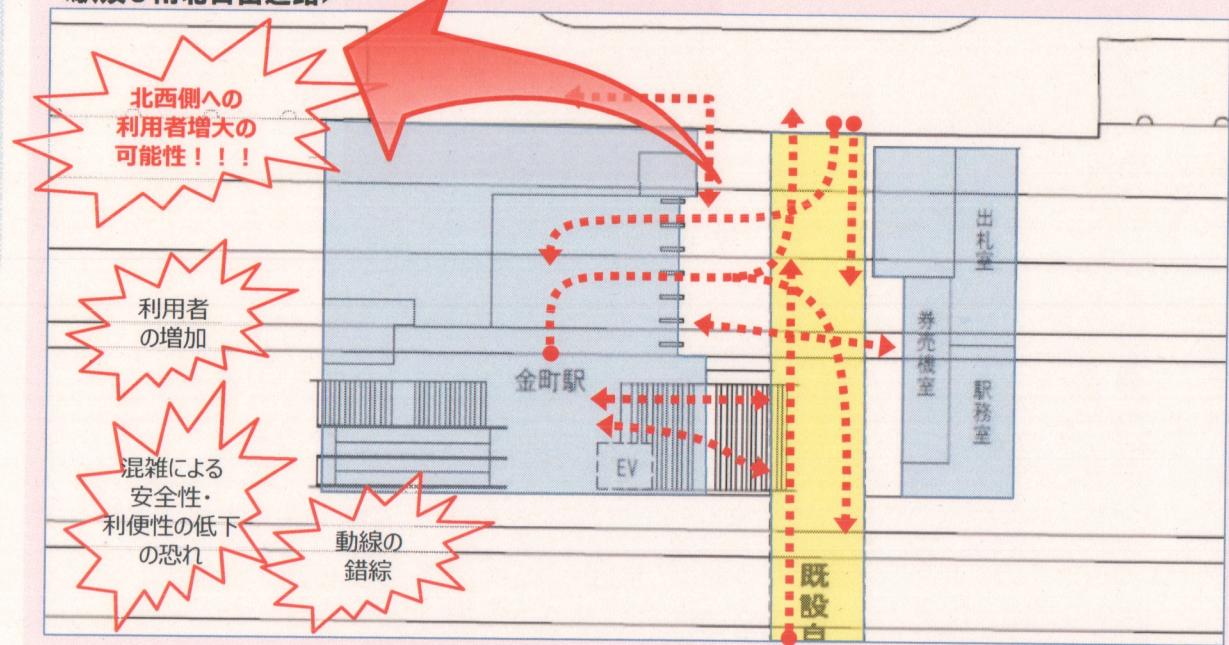
<JR金町駅の乗降客数(1日)>

年度	乗降客数（1日）	備考
H16	8.6万人	
H21	8.7万人	
H24	8.9万人	
H25	9.5万人	理科大学開設
H26	9.4万人	
H27	9.8万人	

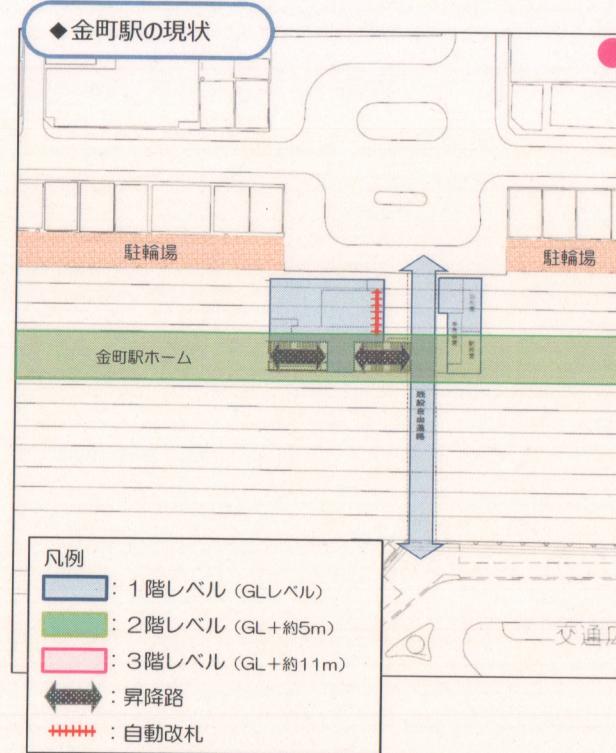
【検討開始の背景】

- 東京理科大学の誘致や大規模マンションの供給により、学生や区民が増加する見通しであり、
- JR金町駅、京成金町駅の利用者の増加が予測されることから、駅利用者の動線の錯綜などの解消を目的に、
- 平成24年度から、自由通路の改善などの検討を開始。

<駅及び南北自由通路>



■まちづくりにあわせたJR金町駅の考え方（案）（2／2）

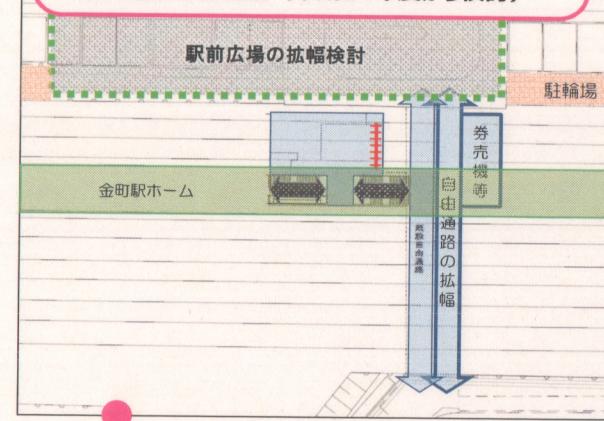


【これまでの検討の概要】

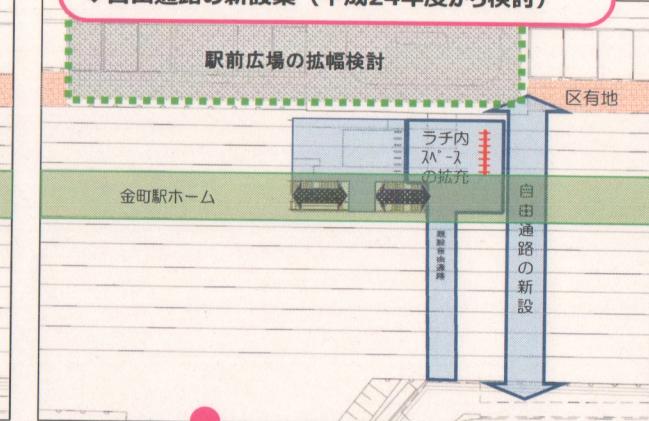
- 駅利用者が更に増加した場合、駅の混雑が増し、駅利用者と南北を通り抜ける者の動線が今まで以上に錯綜する恐れがあることから、
- 北口の駅前広場が広がることを前提に、
- 自由通路の拡幅案、新設案を検討したところ。
- しかしながら、課題の解決の見通しや施工の容易性などを考えた場合、
- 自由通路を橋上化により新たに整備し、併せて改札口を1階から橋上駅舎に移設することを検討。
- しかしながら、橋上駅舎の場合は、安全性の向上を図ることは出来ると思われるが、利便性の低下となる恐れがある。
- 現在、駅前広場の拡幅が出来ない場合を想定しつつも、沿道まちづくりと連携した案の検討を行っているところ。
- なお、地域の方々からは、新たな西口改札の設置、西口に併せて東口設置などの意見が出ているところ。

※現時点では区として考える案であり、決定したものではありません。

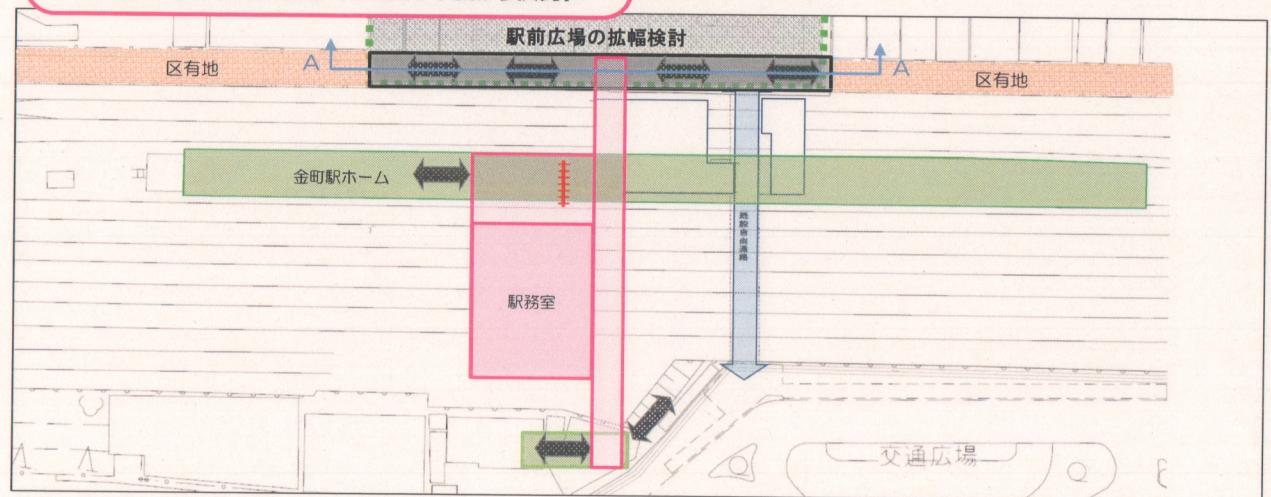
◆自由通路の拡幅案（平成24年度から検討）



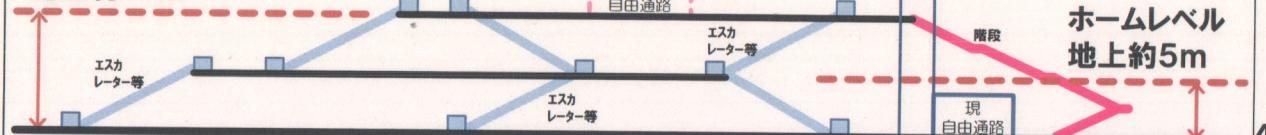
◆自由通路の新設案（平成24年度から検討）



◆自由通路を橋上化する案（平成25年度から検討）



橋上化レベル 地上約11m



■今後の検討を進めるに当たって（案）

- ◆金町駅北口周辺地区のまちづくりを考えるに当たっては、
 - ◆「①東金町一丁目西地区と区のまちづくり用地の一体的な再開発」と「②駅前の交通基盤の整備と沿道まちづくり」との間で十分な連携を図り、
 - ◆歩行者やバス利用者などの安全性・利便性の確保を出来るだけ早期に行うとともに、賑わいを創出し、金町地域の発展に寄与するよう取り組む。
- ◇加えて、まちづくりにあわせて③JR金町駅を考えるに当たっては、
 - ◇北口における現時点でのまちづくりへの取組みだけでなく、南口との関係なども含めて考えることとし、
 - ◇特に、将来、まちづくりへの取組みが予見される金町駅前団地や京成金町駅舎の更新なども視野に入れ、金町地域の発展に寄与するよう取り組む。

